教育相談

友だちとトラブルが多い。

落ち着きがない。

先生や友だちの話が理解しづらい。

言葉がはっきりしない

読み書きが極端に苦手

すぐにカッとなり、イライラしやすい。

卒業後のことが心配。

姿勢が悪くいつもどこかが動いている。

本人の努力不足やしつけの問題と誤解されがちですが、自分の力だけではどうすることもできず、困っている子どもたちがいます。本人がどう困っているのか、まわりの大人が気づき、理解し、その子にあった支援をすることで生活や学習の困難さは軽減されます。気になることや心配なことがあったら、まずは相談してみましょう。小中学校では担任の先生や特別支援教育コーディネーターが相談に応じます。

Q. 関係機関とはどのようなところですか？
A. 子どもの支援について相談できる教育・医療・福祉などの機関のことです。

Q. 特別支援教育コーディネーターとはなんですか？
A. 市内すべての小中学校には、保護者との相談窓口になったり、校内の関係者や校外の関係機関との連絡・調整を行ったりする特別支援教育コーディネーターという役割の先生がいます。

地域の関係機関・職員

教育

幼小中の職員・養護教諭

特別支援教育コーディネーター

スクールカウンセラー

スクールソーシャルワーカー

通級指導教室担当

子ども総合相談センター

特別支援学校の職員

医師

医療

福祉

北勢児童相談所